



おくら

2017

4

NO. 750





～子どもたちの声が響き渡る～

3月12日、旧小玉川小中学校で“雪の中の大冒険”（小玉川地区自然教育圏整備促進協議会主催・小玉川青年団イチコロ主幹）が開催され、多くの家族連れが訪れました。会場には、小玉川地区の方々が除雪機で作った巨大迷路のほかスノーモービル体験やエアボード体験など雪を使ったさまざまな遊びが用意され、とびきりの笑顔をした子どもたちの歓声が響き渡っていました。

平成29年度 施政方針

小国町議会3月定例会において、仁科洋一町長はまちづくりの基本的な取り組みである平成29年度の施政方針を表明しました。今月は施政方針の概要を紹介します。

まちづくりの基本的な考え方

平成29年度の予算編成と施策の構築にあたり、地方自治体を取り巻く環境変化、さらには国、県の動向を踏まえながら、「第4次小国町総合計画基本構想」で示した基本目標である4つの柱に沿って、町民の皆さんとともに歩む「わくわくするまちづくり」のための施策を取りまとめました。

基本目標 1

培ってきた知恵と技が 生きる力を育むまちづくり

子どもたちの医療費無料化

出産支援金の交付、定期妊婦健診費用及び超音波検査の助成、国・県による夫婦の不妊治療への助成について町の上乗せを継続します。また、18歳以下の子どもたちの医療費無料化に引き続き取り組みます。

福祉医療給付事業

5132万8千円

病後児保育の実施

病気の回復期にある子ども達

を預かる病後児保育施設を整備します。

病後児保育施設整備事業

2384万3千円

保育料の軽減

保育料は、これまでに引き続き国の基準より低く設定するとともに、同一家庭における3人目以降の児童の無料化と、同時入所以外の場合における2人目の児童にかかる保育料を2分の1に設定するなど、子育て世帯

の経済負担の軽減支援を継続します。

保育環境等の充実

保護者の就労形態の多様化に伴う家庭と仕事の両立を支援するため、一時預かりや延長保育を行う民間立保育所に対する助成を継続するほか、子育て支援センターでは、子育て相談や各種の子育て広場、講座の開催、訪問などの子育て支援策を引き続き展開していきます。

特別保育事業

563万円

子育て支援センター運営事業

702万6千円

保育所入所児童委託業務

1億8304万8千円

保小中高一貫教育の展開

平成26年度から取り組んでいる新たな小中高一貫教育の枠組みの中で、保育園と小学校の連携を試行してきましたが、改めて保小中高一貫教育の本格的な展開を図るため、おぐに保育園及び中央児童室の管理運営を教育委員会事務局に移管します。

これにより、各保育園で実施している英語ふれあい事業は、保育園児が定期的に英語に触れる機会としながら、小学校の英語教育につながるプログラムとしての検討を進め、幼児教育から小学校への円滑な接続に努めていきます。

おぐに保育園管理運営事業

●中央児童室管理運営事業
3846万3千円

●幼児英語ふれあい事業
1083万5千円

242万4千円

小中高一貫教育の推進

地域に根ざした学力と人間力の育成を目指した小中高一貫教育における、「おぐにスタンダード」、「白い森学習」の取り組みを加速させ、教育課程特例校として「国際・情報科」に常勤講師及び外国語指導助手の配置を継続しながら、白い森学習支援センターの土曜英会話講座などと組み合わせ、地域一体となった学びの促進を図ります。

また昨年、「山形県立小国高等学校を支援する会」が設立されたことを踏まえ、県立小国高等学校の魅力を広く内外に発信するための支援策として、同校が取り組むアメリカ修学旅行にかかる生徒のパスポート取得経費やアメリカ短期外国語留学への助成を行います。

●小中高一貫教育支援事業

1063万8千円

ICT教育の促進

ICT（情報通信技術）を活

用した教育活動を促進するため、計画的に町内小中学校への

情報通信機器導入を進めており、本年度整備する教育用タブレット端末により、学級単位で児童生徒1人1台のタブレット端末利用が可能になります。

●ICT活用推進事業

2718万2千円

学校・家庭・地域の連携による子どもたちの育成

学校支援地域本部、白い森学習支援センター、放課後子ども教室、家庭教育などの活動の全体的な企画調整、支援を担う統括コーディネーターを新たに配置し、地域全体で子どもたちを育む体制を整備します。

●学校・家庭・地域の連携協働

推進事業 448万4千円

生涯学習・スポーツの推進

生涯学習に対するニーズが多様化する中で、森林を活用した体験学習や地域の生活文化、生活技術を学ぶ地域学講座、身近な環境問題をテーマとした学習講座、さらには文化講演会などを引き続き開催します。また、生涯スポーツの推進では、サマースポーツ大会、ウィンタースポーツ大会等の開催、町体育協会やスポーツ少年団等の活動支援を継続します。さらには、

基本目標2

地域資源に磨きをかけた次代の「しごと」を生み出すまちづくり

地域資源のブランド化を展開

「白い森まるごとブランド構想」に基づき、本町の多様な地域資源のブランド化に取り組みます。そのため、「白い森ブランド戦略担当」の部署を新たに設置し、商標登録を行った「白い森」の商標権の管理と活用を行う仕組みを構築し、民間による商標活用やブランド化展開に対し支援を行います。また、町

幼児や小中学生、中高年などを対象とした各種スポーツ教室を引き続き開設し、各年代を通じて健康体力の増進に努めます。

アメリカ・コロラド州のスポーツ少年団と本町のスポーツ少年団の多面的な交流を推進するため、本年度は柔道スポーツ少年団の指導者を招いて指導者や関係者による交流会を開催しながら、今後の交流の進め方について相談してまいります。

●文化振興事業 170万2千円

●生涯スポーツ振興事業

385万3千円

内外におけるプロモーション活動とあわせ、健康づくり、教育、子育て、環境や交流などさまざまな分野の取り組みと連関させながらブランド化に努めます。

●白い森まるごとブランド構想推進事業 1116万4千円

6次産業化の推進

6次産業化の取り組みでは、「おぐにまるごと農商工ネット

ワーク協議会」を通じて、引き続き学校給食を中心とした地産地消の展開を図り、地域特性を生かした食育を総合的に進めます。また、昨年度策定した「小国町6次産業化推進戦略構想」に基づき、生産体制の確保と販路拡大に向けた、生産者・事業者等への支援を行います。

●6次産業化・地産地消推進事業
107万円

森林資源活用とキノコ産業支援

町有林を利用した広葉樹等の植栽・生育等の実証を継続し、本年はウルシ・トチノキなどの苗木の育成・定植を行い、その利用価値や付加価値の評価につながる実証実験を展開します。

また昨年度、町内農事組合法人が主体となり、キノコ菌床製造及び培養施設が整備され、本年度は県の事業を活用し、施設稼働と事業展開に必要な一部の設備整備が予定されているため、町としても支援を行います。

●高収入品目植樹植栽事業
58万4千円

●きのこ産業づくり推進事業
440万円

耕作放棄地の発生防止対策

耕作放棄地の発生を抑制するため、生産条件の不利な急傾斜地を耕作する農業者等の支援を行う中山間地域等直接支払事業を継続するとともに、新たに北部地区を対象に同交付金の対象農用地の増加を目的とした傾斜測定を行います。さらに、新たな農地維持対策の取り組みとして、北部地区をモデルに水田放牧を活用した畜産振興と農地の利活用、集約を進めます。

●中山間地域等直接支払事業
1313万6千円

●遊休農地等保全事業
45万円

新規就農支援・農業担い手育成

農業の担い手育成のため、人・農地プランによる青年就農給付金事業と町単独の新規就農支援制度である創農チャレンジ給付金事業を継続するほか、認定農業者協議会に対する運営支援を行い、農業者の経営発展につながる取り組みを促進します。

●農業担い手育成事業
1369万1千円

●人・農地プラン給付金等交付事業
494万7千円

畜産の振興

意欲ある畜産経営体による、



飼育技術の向上を目的に
毎年開催している小国町和牛共励会

県畜産生産拡大支援事業を活用したやまがた地鶏と繁殖牛の生産拡大の取り組みに対し、町として上乗せ支援を行います。また、町内畜産農家等の経営安定化と規模拡大に向け、町有牛の貸し付けを継続します。

●畜産規模拡大支援事業
3074万1千円

鳥獣被害防止対策

町鳥獣被害対策実施隊による野生動物の農作物等被害対策として、その捕獲、駆除等を引き続き実施します。また、新規狩猟免許及び猟銃所持許可取得にかかる助成を継続し、狩猟の担い手支援に取り組むとともに、二ホンザルによる被害の防止を図るため、農家等の電気柵設置にかかる支援と追い払い用火火

の購入助成を継続します。

●有害鳥獣被害対策事業
529万1千円

町内企業・起業家等への支援

個人及び法人の起業、創業を支援するため、出店や新規開業等に対し助成を行う起業家資金助成事業を拡充し、創業者が法人化等により事業の安定拡大を図る場合にも支援を行います。

また、企業の人財確保を支援するため、町内企業等が新卒者等を新規雇用した場合に、当該就業者に対し町内就職祝金を交付するほか、新規就業者同士や企業の代表者等との交流の場を設定するなど、雇用環境の改善に向けた新たな取り組みを展開します。

さらに、町内中核企業において先端技術を活用した新規電池材料事業の取り組みが動き出し、新規雇用の確保をはじめ、地域経済の活性化に大きな効果が見込まれることから本事業に対し支援することとしました。

●地域企業人材マッチング促進事業
246万円

●環境型雇用創出産業立地推進事業
7500万円

商業振興

町内消費の拡大に向けて町商工会が取り組む、プレミアム付買利物券発行事業への助成、地域の高齢者等における生活の基盤確保サービスである宅配、買い物代行、移動販売を事業者が連携して行う取り組み等に支援します。

●地域商業サービス支援事業

125万円

●地域経済活性化支援事業

400万円

道の駅の機能拡充と観光振興

「道の駅白い森おぐに」の機能拡充を重点施策として位置づけ、道の駅の全体的な改修整備計画をとりまとめるとともに、構内のトイレの改修、情報通信基盤の整備、サイネージ用ディスプレイの設置、地域産業館あいのLED照明化などを実施します。また、観光交流の基盤づくりとして、町内交流施設等の案内看板を計画的に設置します。

観光交流を推進するため、森林セラピー事業などの体験交流の取り組みや、石楠花まつり、夏まつりの開催支援を継続するほか、中心商店街を核とした民



間団体によるハロウィンイベントの開催を支援し、街の賑わいづくりと交流促進を図ります。

●道の駅機能拡充事業

3023万円

●インバウンド推進事業

2052万8千円

移住推進連携プログラムの展開

移住交流やUターン・Iターンの促進を図るため、ふるさと同窓会補助金事業や将来的な移住に向けてのお試し滞在支援などの取り組みに加え、子育て、教育、住まいや就労など各方面にわたる移住・定住促進の施策を展開してまいります。そのひとつとして、子どもを持つ家庭の移住支援策では、本町への移住にかかる費用の助成及び県立小国高等学校に入学させた移住

者に対する修学奨励金給付事業を創設しました。また、移住者の住宅供給支援につながる空き家のリフォーム補助を実施するほか、空き家等の実態調査を行い、危険な建物、活用できる空き家の現状と実態の把握に努めます。さらに、介護職員初任者研修受講に対する助成の移住者枠の設置、移住者の雇用を確保

基本目標3

支えあいの心が 暮らしやすさをつなぐまちづくり

する町内企業等へ支援を行います。こうした移住・定住の促進にかかる施策については、移住推進連携プログラムのパッケージとして発信していくこととし、まちづくりの協働をコーディネートする部署を新設し取り組んでまいります。

●移住推進連携プログラム

943万9千円

町営バスの利便性向上

町営バス、デマンドタクシー及びスクールバスを活用した運行を確保し、町民の通院、通学、買い物等の利便性の向上を図ります。

●公共交通運行事業

5146万2千円

生活基盤道路等の整備

町道整備事業では、国の事業を活用して町道松岡黒沢峠線の橋梁整備と取付道路の舗装工事を実施するとともに、町道松岡大石線の雪崩防止柵の設置と町道舟渡上平線の舗装補修を行い

ます。町単独事業では、町道長者原内川線及び町道出戸石滝線の改良舗装を進めるほか、町道長沢三面線の改良に向けた調査に着手します。

地域高規格道路・新潟山形南部連絡道路「小国道路」の建設を促進するため、国や関係機関に対し、建設促進期成同盟会や小国道路推進協力会等関係団体と一体となって要望活動を展開し、早期着工を働きかけます。

●社会資本整備総合交付金事業

町道松岡黒沢峠線道路整備事業

●町道橋補修事業

6680万円

小国の住宅総合支援

バリアフリー化や克雪化、省エネルギー設備導入など居住環境の改善を図るためのリフォームや、住宅の新築・増改築における町内産木材の利用に対する支援を継続します。また、ペレット・薪・モミガラストストーブ設置への助成に加え、耐震診断及び耐震改修に要する経費等への支援を行います。

●小国の住宅総合支援事業

2410万円

消防防災・地域防災力の強化

小股地区のポンプ庫改築、叶水、増岡地区の防火水槽の新設、軽四輪積載車及び小型動力ポンプと搬送用軽トラックを導入します。さらに、消防団員の安全装備品を計画的に整備します。

本年度より防災行政通信システムの運用を開始するほか、指定避難所、指定緊急避難場所に表示看板を設置します。

●消防施設整備事業

2437万6千円

●消防車両購入事業

1598万4千円

●避難場所表示看板設置事業

187万8千円

羽越水害50年事業

本年は、昭和42年8月に発生した羽越水害から50年の節目を迎えます。水害の記憶と経験を次代に引き継ぎ、安全安心なまちづくりの推進を町民全体で再確認するため、羽越水害50年事業を行います。

●羽越水害50年事業

69万8千円

きめ細やかな除雪体制の充実

本年度はロータリ除雪車1台の更新を行うとともに、松岡導水路の落雪防止梁の設置を継続します。また、居宅高齢者等への除雪経費の支援や宅道除雪支援を行う高齢者等暮らし応援事業を引き続き展開します。

●除雪事業

2億2436万7千円

●高齢者等暮らし応援事業

791万6千円

人工透析患者の負担軽減

昨年12月より実施している、自宅から医療機関までの送迎事業に引き続き取り組みます。また、送迎事業を利用されない人工透析患者の通院交通費に対する支援を継続します。

●人工透析患者送迎事業

3013万4千円

訪問リハビリテーションの充実

訪問看護ステーションに専門の理学療法士を配置し、訪問看護利用者に対するリハビリテーションの提供のほか、介護予防教室などでの指導を通し、地域リハビリテーションの基礎を構築していきます。また、町立病院の医療機器等の計画的な更新を行います。

介護職の確保対策

町内在住者の介護技術の習得を促進するため、社会福祉協議会と連携し、介護職員初任者研修を新たに開講するほか、県立小国高等学校の生徒が介護職員初任者研修を受講する際に支援するとともに、介護福祉士を目指す

高齢者福祉の推進

支えあいほっとライン事業を継続し、安心見守りサービスや巡回訪問、地域サロンの活動を展開します。また、昨年度設置した「認知症初期集中支援チーム」などによる認知症対策の推進のほか、介護保険制度の改正により、平成29年4月1日から、要支援1・2のかたが対象の介護予防訪問介護及び通所介護サービスを「介護予防・日常生活総合事業」として実施します。なお、昨年度実施した高齢者日常生活実態調査の結果を踏まえ、小国町高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画を策定します。

●介護職なかも創出事業

112万8千円





首都圏の大学生などが地域づくりに
参画する地域資源活用域学連携事業

基本目標 4

確かな豊かさを実感できる まちづくり

ごみの減量化と資源循環

生ごみ堆肥化事業を継続し、家庭の生ごみの回収と協力農家での堆肥化を進めるとともに、その堆肥を活用して栽培した野菜等の販売や保育園の給食食材等への提供を行います。これによって、ごみの減量化と資源循環の仕組み構築を図っていきます。

●環境対策事業

216万5千円

多様な主体によるまちづくり

外部人材との協働によるまち

づくり、地域づくりを推進するため、地域おこし協力隊と緑のふるさと協力隊を配置します。

また、旧小玉川小中学校利活用においては、東北芸術工科大学卒業生を中心とした芸術文化活動や情報発信活動などの展開を継続します。

地域資源活用域学連携事業については、事業効果の検証を図りながら、地域と大学、学生の連携協働による地域活力創出事業へと発展させます。

さらに、これまでの域学連携事業の実績に基づき、外部人材を招へいしながら、産学官連携のまちづくり戦略を実践的に展開していくため、早稲田大学環境総合研究センターと共同で地域リサーチセンターを設置することとしました。

●集落活動維持保全事業

415万円

●旧小玉川小中学校利活用事業

122万4千円

●地域資源活用域学連携事業

273万8千円

次期おぐに開発総合センター

整備に向けて

次期おぐに開発総合センターの整備に向け、本年度は基本設計に取り組みます。あわせて、内蔵するソフトとなる「山の暮らし伝承創造機構（仮称）」の創設を目指して、実践的に準備活動を展開することとし、本町の特性である生活文化、生活技術の継承と育成、発展を担う仕組みを構築してまいります。

●次期総合センター整備基本設計策定事業 830万9千円

携帯不感地域の解消対策

移動通信基盤の整備では、いまだに不感となっている地域があるため、関係機関・事業者等に対し事業化の要望を行ってまいりました。本年度においては、百子沢地区に対して事業者により事業参画の意向が示されたため、同地区における携帯電話基地局整備を実施します。

●移動通信用鉄塔施設整備事業 3682万6千円

次期小国町総合計画

基本構想の策定

平成20年度に策定した現総合計画である、「第4次小国町総合計画

合計画基本構想」の目標年次が平成30年度となっているため、本年度から次期小国町総合計画基本構想の策定に着手いたします。

●小国町総合計画基本計画策定事業 50万7千円

むすびに

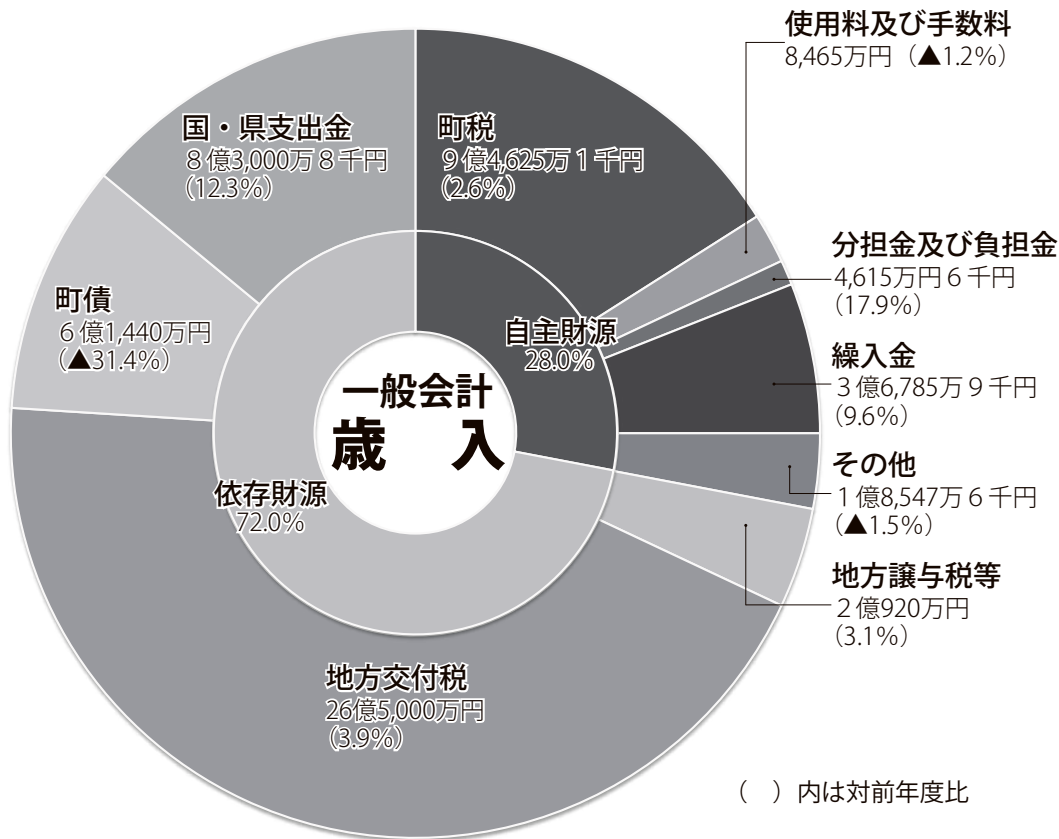
人口減少と少子高齢化の進展は、我が国の政策課題であり、この社会現象は、まちづくりに大きな影響を与えています。

私たちは、こうした現実をしつかりと受け止めて、次代を展望した取り組みを展開することにより、その克服に立ち向かわなくてはなりません。

このため、先人たちが築き上げた「白い森の国」おぐにを継続的に発展させていくよう、町民一人ひとりの役割を再認識しながら、本町の多様な魅力の発信、洗練に向けた戦略である、「白い森まるごとブランド構想」を協働して繰り広げていきます。それが、未来に向けたメッセージとなり、「みんなが輝いている町」につながるものと確信しています。

一般会計予算 59億3,400万円

予算



小国町議会3月定例会で平成29年度予算が可決されました。一般会計予算は59億3400万円で、前年度と比較して2400万円、0.4%の減額となりました。一般会計と特別会計、企業会計をあわせた町予算の総額は、111億9691万4千円で、前年度に比べ2億8321万3千円、2.6%の増となりました。

平成29年度 予算概要

平成29年度一般会計予算総額は、59億3400万円で、防災行政通信システム整備事業の完了などに伴い、前年度に比べ2400万円の減となりました。

歳入では、町税は、町内企業の業績改善に伴い、個人町民税・法人住民税の増加が見込まれることから、前年度比2.6%の増となっています。また、町債は、前年度比31.4%減、国庫支出金は前年度比23.9%の増、県支出金は前年度比0.7%の増となっています。

歳出では、消防費において防災行政通信システム整備工事の完了に伴い、前年度比

55.1%の減、商工費は道の駅機能拡充事業やインバウンド推進事業等により、41.1%の増となっています。また、土木費は、社会資本整備総合交付金事業を活用して、町道松岡黒沢峠線・舟渡上平線の道路改良を行うほか、今春から新潟県側の通行が可能となることを受け、町道長沢三面線の再整備に向けた測量等により、前年度比6.9%の増となりました。

企業会計の水道事業会計では、大字針生地内における配水池施設築造工事および送配水管の布設工事を行うことに伴い、前年度比57.9%の増となりました。また、老人保健施設事業会計は、老朽化した施設の修繕や備品の更新等により、前年度比2.4%の増となっています。

平成29年度 まちづくりに使われるお金

用語解説

歳入

■町税

住民の皆さんや法人などに納めていただく税金（町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など）

■地方交付税

市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税（所得税・酒税・消費税など）として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの

■町債

町の借入金（借金）

■国・県支出金

市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

歳出

■総務費

行政事務などに関する経費

■民生費

障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費

■衛生費

生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費

■農林水産業費

農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに関する経費

■商工費

商工業や観光振興のための経費

■土木費

道路や河川を整備したり管理するための経費

■教育費

教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費

■公債費

事業を行うために借りた町債の元金・利息などを支払う経費

諸支出金・予備費

501万円（0.0%）

災害復旧費

279万1千円（0.9%）

公債費

8億5,261万8千円（26.2%）

教育費

4億3,754万9千円（▲6.1%）

消防費

2億8,861万4千円（▲55.1%）

土木費

8億6,034万2千円（6.9%）

商工費

4億2,035万円（41.1%）

農林水産業費

3億3,376万7千円（▲5.1%）

議会費

8,257万1千円（▲0.5%）

総務費

8億4,326万6千円（2.4%）

民生費

13億561万1千円（4.6%）

衛生費

4億9,247万8千円（▲9.9%）

労働費

903万3千円（▲4.6%）

一般会計
歳出

【平成29年度各会計予算】

会 計 名	予 算 額	28年度比 増減率
一般会計	59億3,400万円	▲0.4%
特 別 会 計		
簡易水道事業	3,165万円	53.3%
国民健康保険事業	9億1,309万円	▲0.3%
部落有財産	1億1,352万円	5.8%
下水道事業	3億8,295万円	▲2.0%
訪問看護	8,548万円	5.2%
介護保険	9億6,056万円	1.2%
後期高齢者医療	1億286万円	5.7%
病院事業会計	12億5,873万3千円	▲3.7%
老人保健施設事業会計	3億9,494万3千円	2.4%
水道事業会計	8億7,677万1千円	57.9%
工業用水道事業会計	1億4,235万7千円	▲2.7%
合 計	111億9,691万4千円	2.6%

【平成29年度の主な事業】

事 業 名	予 算 額
白い森まるごとブランド構想推進事業	1,116万4千円
病後児保育施設整備事業	2,384万3千円
移住推進連携プログラム	943万9千円
道の駅機能拡充事業	3,023万円
インバウンド推進事業	2,052万8千円
介護職なかま創出事業	112万8千円
羽越水害50年事業	69万8千円
I C T活用推進事業	2,718万2千円

小国町議会 3月定例会

平成29年第2回小国町議会議定例会が、3月8日から17日まで開会されました。平成28年度一般会計補正予算や平成29年度各会計予算などが審議され、全て原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計予算を

8118万1千円減額

一般会計では、国の補正予算に係る臨時福祉給付金の経費や県が実施している主要地方道玉川沼沢線道路改良工事の県執行事業負担金等に係る経費を追加することとしたほか、各事業において実績見込みに基づき、不要額を減額しました。この結果、補正額は8118万1千円の減額となり、補正後の予算総額は63億7018万円となりました。

■町民の皆さまに町の予算をより一層理解していただくため、新年度の予算内容をわかりやすく解説した資料を作成することとし、所要の経費を措置しました。

■町道除排雪経費について、2月の執行状況に鑑み、融雪期における経費に不足が見込まれるため、所要の経費を追加しました。

農業委員等の報酬改定・設定

農業委員会制度の改正に伴い、農業委員会の役割が拡大することを踏まえ、農業委員及び会長の年報酬を改定したほか、新たに会長代理の年報酬を設定しました。農地利用最適化推進委員については、農業委員とのバランスを考慮した年報酬を設定するとともに、現場活動の実績に応じた加算額を支給することとした。

■教育委員については、教育を取り巻く社会環境の変化等から、委員の役割が大きくなっているため、年報酬を改正しました。

小国町税条例等の一部を改正

地方税法等の一部改正が公布され、平成28年税制改正のうち「法人町民税の法人割の引き下げの実施時期」及び「軽自動車税の環境性能割の導入時期」などの変更に伴う所要の規定が整備されたことに基き、関連する町税条例等の一部を改正しました。

■軽自動車税のグリーン化特例の適用を1年間延長したほか、平成31年10月1日から軽自動車税の環境性能割を導入し、現行の軽自動車税を種別割に名称変更することとしました。

■法人町民税の法人税割について、平成31年10月1日以降に開始する事業年度分から法人税割の標準税率を引き下げる法改正が行われたことに合わせ、町でもこれに準じて標準税率の引き下げを行うこととしました。

■個人住民税の住宅ローン減税の適用期間を2年延長するなど、所要の改正を行いました。

後期高齢者医療保険料の軽減特例が変わります

後期高齢者医療の保険料では、通常の軽減のほかに国の予算による軽減特例の措置がありますが、世代間・世代内の負担の公平を図り、負担能力に応じた負担を求める観点から次の通り特例部分が見直しとなります。制度の持続性を高めるためご理解とご協力をお願いいたします。

◇所得割額は、現在の5割軽減が平成29年度に2割軽減、平成30年度に軽減なしに変わります。

◇制度加入直前にサラリーマンの扶養家族だったかたの均等割額は、現在の9割軽減から平成29年度に7割軽減、平成30年度に5割軽減に変わります。

■問合先 山形県後期高齢者医療広域連合（☎0237-84-7100）
または町民税務課国保医療担当（☎62-2261）へ

平成29年4月3日(月)から 防災行政通信システムの運用を開始します

平成28年度に整備をした防災行政通信システムについて、4月3日(月)午前中から運用を開始します。各家庭配布した防災ラジオと町内13カ所に設置した屋外拡声子局（スピーカー）から下記のとおり放送します。なお、5月末までは、調整機関としてシステムや電波の送受信状況等を確認しながら運用してまいりますので、状況によっては、災害等の緊急時以外の時間帯にシステムを一時的に停止し、時報等が放送されない場合がありますのでご注意ください。

【定期放送】

事項	放送概要	摘要
時報	7時（チャイム、行政情報） 12時（チャイム） 19時（チャイム、行政情報）	システムの点検を兼ねて、毎日放送します。
訓練放送	消防演習時のサイレン吹鳴 総合防災訓練時のサイレン吹鳴	
火災予防	春季・秋季における全国火災予防運動における放送	

【緊急放送】

事項	放送概要	摘要
災害関係	災害対策本部等設置に伴う注意喚起、避難勧告等	必要な箇所に放送します
消防関係	大規模災害、建物の延焼拡大が予想される場合	必要な箇所に放送します
気象情報	緊急地震速報（震度4以上）、土砂災害警戒情報、特別警報、その他特殊な気象情報	
公害情報	PM2.5、光化学オキシダント等	基準値を超えた場合、放送します
有害鳥獣	人家、通学路付近のクマ出没	出没地域で放送します
国民保護情報	大規模テロ、ゲリラ・特殊部隊攻撃、弾道ミサイル攻撃	
その他	町長が特に認めたもの	

【防災行政通信システムの放送に関するお願い】

- 緊急放送は、深夜、早朝を問わずに24時間いつでも放送されます。皆様のご理解とご協力をお願いします。
 - 毎日、7時・12時・19時にチャイムを放送し、システムの稼働を確認します。また、7時及び19時には行政情報を随時お知らせします。
 - 屋外スピーカーは、天候や風向きによっては放送が聞こえにくい場合がありますので、ご注意ください。
 - 放送を聞き逃した場合は、防災ラジオの「聞き直しボタン」で最新情報を聞き直すことができます。
- 問合先 防災行政通信システム全般 町民税務課町民生活担当（☎62-2260）へ
防災ラジオの使用方法 防災ラジオコールセンター（☎0120-388-280）へ

協力隊活動報告会

緑のふるさと協力隊の野口達光隊員と地域おこし協力隊の宮崎美穂隊員による活動報告会が、3月6日と9日、アスモとりふれで開催されました。

野口隊員は、主に北部・沖庭地区を中心に活動を展開し、山菜採りや農作業、ウサギ狩り、旧あさひ保育園を開放しての活動など1年間の活動成果について発表を行いました。

宮崎隊員は、(株)小国いきいき街づくり公社を主な活動場所にして、特産品開発やパッケージデザインなどに取り組み、桜川のデザインやつまむ穀つぶグリッシーニの開発・デザイン、まちの駅での各種フライヤーなどの成果を披露しました。



遠藤寛壽さん(大宮)が平成28年度置賜地域農林水産業若者賞を受賞しました。



この賞は、農林水産業分野の振興、発展に自主的かつ積極的に取り組む若者に贈られるものです。

遠藤さんは、和牛の繁殖を行っており、「米沢牛」の生産拡大に貢献するとともに、中学校や高校、農林大学の体験学習の受け入れを通じた農村青少年育成や自給飼料の生産による循環型農業の実践などを展開しています。

遠藤 寛壽さん

置賜地域農林水産業若者賞

国民健康保険の 届け出は14日以内に！

3月から4月にかけては、転入や転出、職場の健康保険から国民健康保険への切り替えなどが多い時期です。次のような場合には、14日以内に必ず届け出をしてください。

■問合せ 町民税務課国保医療担当 (☎62-2261) へ

	こんなときには届け出を	持参するもの
加入するとき	他の市町村から転入したとき	印かん、転出証明書
	職場の健康保険をやめたとき	印かん、職場の健康保険をやめた証明書
	職場の健康保険の被扶養者からはずれたとき	印かん、被扶養者でない理由の証明書
	生活保護を受けなくなったとき	印かん、保護廃止決定通知書
	子どもが生まれたとき	印かん、母子手帳
	外国籍のかたが加入するとき	外国人登録証明書
脱退するとき	他の市町村へ転出するとき	印かん、保険証
	職場の健康保険に加入したとき	印かん、国民健康保険と職場の健康保険の保険証
	職場の健康保険の被扶養者になったとき	
	生活保護を受けるようになったとき	印かん、保険証、保護開始決定通知書
	死亡したとき	印かん、保険証、死亡を証明するもの
	外国籍のかたが脱退するとき	保険証、外国人登録証明書
その他	住所、世帯主、氏名などが変わったとき	印かん、保険証
	保険証をなくしたり、汚れて使えなくなったとき	印かん、保険証、身分を証明するもの、世帯主と再発行するかたのマイナンバーカードまたは通知カード
	修学のため、子どもが他の市町村に住むとき	印かん、保険証、在学証明書または学生証の写し、世帯主となるかた(子ども)のマイナンバーカードまたは通知カード

米坂線全線開通80周年記念 フォトコンテスト審査結果

米坂線全線開通80周年記念フォトコンテスト審査会が、3月21日に行われました。応募総数287点（一般の部202点、80周年記念の部85点）の中から、厳正な審査の結果、次の通り各賞が決定しました。入賞作品は米坂線整備促進期成同盟会ホームページに掲載しています。

最優秀賞

「寒い夜の待機」 小笠原 弘さん（山形県長井市）

優秀賞（一般の部）

「始発（下り）」 長谷部基雅さん（山形県米沢市）

優秀賞（80周年記念の部）

「追憶（1）」 土谷 芳治さん（群馬県みどり市）

入選

「秋の情景」 島貫 一郎さん（山形県飯豊町）

「息吹を感じて」 丸川 久吉さん（山形県白鷹町）

「涼味」 那須 涼太さん（山形県米沢市）

「一番列車」 岩谷 秀夫さん（山形県南陽市）

「春満開」 風間 恭子さん（新潟県胎内市）

「駅がにぎわう時」 阿部 淳さん（福島県福島市）

「雪中疾走」 鈴木 道隆さん（兵庫県姫路市）



最優秀賞受賞作品

■問合先 米坂線整備促進期成同盟会（小国町総務企画課内）（☎62-2264）へ

小国高校は、4月に新入生26人を迎え、「有志竟成」をスローガンとして新たにスタートします。小国高校の良い所は、生徒一人ひとりに輝く場があるということです。そして、その輝ける場の一つとして、生徒会活動があります。生徒会活動では、生徒一人ひとりが、委員会に所属し、委員長を中心として、学校をよりよくしていくために、日々努力しています。生徒会活動の一例として、HR委員会や生活委員会が行っている、朝の挨拶運動があり、小国高校生の挨拶の向上へとつながっています。今年度も小国高生全員で、さらによい小国高校を創り上げていきます。



「生徒一人ひとりが創りあげる生徒会」

佐藤 宇海



益田晃汰さん（右）

佐藤宇海さん（左）

先日1・2年合同のコミュニケーション講座や企業説明会がありました。以前と比べると、将来の姿を具体的にイメージできようになりましたし、二つの行事とも後輩と一緒にだったので、1年生と2年生で協力関係を作れたと思います。それを活かし、生徒会では「有志竟成」というスローガンのもと、全員が固い信念で行事や学習に臨み、みんなでもっと楽しい学校にしていきたいと思います。生徒会事務局は現在7人と少人数ですが、新入生を迎える準備も計画的に進めていて、4月が楽しみです。新年度もまた一人ひとりが輝けるように色々と企画していきたいと思っています。

「新年度を前に」

益田 晃汰



冬の新たな遊びにハマリそう！ ～ワカサギ釣り体験～

2月25日、ワカサギ釣り体験が白い森おぐに湖（横川ダム湖）で開催され、町内外から家族連れなど36人が参加しました。これは、近年小国の冬のブームになりつつある、ワカサギ釣りを多くのかたに気軽に楽しんでもらおうと小国わかさぎ会（佐藤道信会長）が主催したものです。

参加者は小国わかさぎ会会員からの丁寧な指導を受けてワカサギ釣りにチャレンジし、小国の冬の新たな遊びを楽しんでいました。



小国の冬の遊びを満喫 ～第22回雪の学校～



第22回雪の学校（齋藤重美校長）が3月4～5日の2日間、りふれ周辺で開催され、県内外から25人が参加しました。これは、小国ならではの冬の暮らしや遊びなどを楽しんでもらおうと五味沢地区住民などの実行委員会が開催しているものです。

参加者は、雪山散策やウサギ追ひ、メープルサップ採取、さいず焼きなどを体験したほか、郷土料理を堪能しました。最終日には卒業試験として「尻滑り」が行われ、見事全員が卒業しました。

小さな積み重ねが大きな成果に ～ペットボトルキャップ寄託～

発展途上国の子どもたちにポリオ（小児まひ）ワクチンを届けようと、3月7日、小国中学校（渋谷洋司校長）が山形銀行小国支店（布施和宏支店長）にペットボトルキャップ約200キログラム（約80,000個・ワクチン30人分相当）を寄託しました。これは、生徒会執行部が中心となり全生徒が1年間かけて集めたものです。布施支店長は、「本来捨てるものを集め、人の命を救うこの活動のように、小さなことでも継続して積み重ねていくことがとても大切です」と話されました。



ふるさとを懐かしむ ～山形県小国郷人会総会～



関東在住の本町出身者を中心に組織される山形県小国郷人会（保科秀三会長）総会が、2月25日、都内で開催されました。総会には会員62人が出席したほか、町からは町長などが参加し、出席者と小国の懐かしい思い出話に花を咲かせていました。また、同会から寄付金10万円が町社会福祉協議会へ送られることとなり、3月3日、仁科町長から同協議会の河内昭佐会長へ手渡されました。

村上冬羽くんが県大会準優勝 ～全国小学生アルペン大会出場～

小国小学校5年村上冬羽（とわ）くん（栄町）が、2月24日に上山市の蔵王ライザスキー場で開催された第11回全国小学生アルペン大会山形県大会小学5年生男子の部で準優勝し、3月22日から24日まで岩手県の安比高原スキー場で開催された「第11回全国小学生アルペン大会」に出場しました。

大会を終えて村上くんは、「2本目がキャンセルになり7位から挽回できず、悔しかったですがいい経験になりました」と話してくれました。



晴天の雪上で熱戦を展開 ～ウィンタースポーツ大会～



小国町ウィンタースポーツ大会が、2月26日、横根スキー場で開催されました。この大会は、町民の体力づくりと交流促進を目的に町教育委員会と町スキー連盟、町スポーツ推進委員会が共催で毎年開催しているものでスキーやスノーボードのアルペン競技やジャンプ競技、的当て競争など7種目が行われました。レクリエーション種目では、出場選手が陣地からの声援に応え力を合わせて各種目にチャレンジしていました。

総合結果は、沖庭地区が優勝となりました。



緑のふるさと協力隊 のぐち たつひこ
野口 達光



「もう一年」

2月20日、27日、3月6日、北部^{ほくぶんち}ん家（旧あさひ保育園）で「北部地区輪投げ王座決定戦」を開催しました。各開催日の成績と、3日間の総合成績で勝敗を競いました。恐らく世界初のシリーズ戦の輪投げ大会だったのではないのでしょうか。これまで北部ん家を利用したことのない方にも参加して頂き、とても楽しい大会となりました。

小国町での生活は、山菜やきのこを採り、自宅の畑で多種の野菜を育て、共同で生活域の管理をするという、都会では見られなくなった暮らしが今も残っていました。「生きる力」を学ぶために選んだ協力隊という道で、小国の皆さんにはその力があることを強く感じ、そしてその力を学ぶには一年はあまりに短いものでした。生活の中で、たくさんのかたにお世話になりました。本当にありがとうございました。また次の隊員もやってきます。これからも緑のふるさと協力隊を温かく見守って頂ければ幸いです。

また遠からず、皆さんにお会いできると思いますので、見かけたらぜひお声がけください。一年間お世話になりました。

募集

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 6戸

■家賃 所得により決定

■対象 入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

4月10日(月)～4月14日(金)

■入居時期 6月上旬

■申込先 置賜総合支庁西庁舎(長井市)総合案内窓口

■問合せ 県営住宅指定管理者(株)西王不動産置賜事務所(☎0238・24・2332)へ

町営住宅入居者募集

《あけぼの高齢者団地》

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が月額21万4千円以下で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した生活をおくることができ同居の場合は同居するかたが配偶者または60歳以上の親

族であること。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 2戸(1、2階)

2K 1戸(3階)

■家賃 38000円(2DK) 33000円(2K)

■対象 町内事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間 4月10日(月)

■入居時期 4月下旬以降

■問合せ 地域整備課建設管理室(☎62・2431)へ

横川河川敷の樹木を伐採する事業者(企業・団体)募集

横川ダム管理支所では、横川河川敷樹木の伐採・採取を希望する事業者を募集します。

■伐採箇所 小国町下叶水地先の横川右岸河川敷

■募集期限 9月29日(金)

※4月21日(金)までの応募で一時締め切ります。

■伐採等期間 5月12日(金)～11月30日(木)

※水位により期間が変動します。

■その他 詳細はホームページをご覧ください。

■問合せ 横川ダム管理支所(☎65・2363)へ

ご案内

危険物取扱者試験 準備講習会

■区分

①乙種第4類

②丙種

■講習日

①5月25日(木)～26日(金)

②5月25日(木)

■時間 午前9時～午後4時

■場所 長井市民文化会館

■申込期間

4月17日(月)～5月17日(水)

■その他 講習会案内及び申込書は西置賜行政組合消防本部、消防署、各分署に配置しています。

■問合せ

西置賜行政組合消防本部

予防課(☎0238・88・1797)へ

危険物取扱者・消防設備士の免状をお持ちの皆さまへ

危険物取扱者・消防設備士の免状は、義務として、交付の日から10年以内ごとに写真の書換えをしなければなりません。

ん。前回の写真書換えから10年を経過している場合は、速やかに手続きを行ってください。書換申請書は、各消防本部や県庁危機管理課、県各総合支庁、(一財)消防試験研究センター山形県支部等に備えています。

■問合せ (一財)消防試験研究センター山形県支部(☎023・631・0761)へ

小国キリスト教会 コンサート

平成14年4月、山形市立病院済生館でのボランティアコンサート出演を機に、ソプラノ(佐藤美喜子)、チェロ(鈴木信哉)、ピアノ(鈴木布美子)のトリオとして結成した「トリオ・グラシア」によるコンサートを開催します。

■期日 5月7日(日)

■時間 13時30分開場 14時開演

■場所 小国キリスト教会(白百合保育園となり)

■入場料 無料

■問合せ 小国教会 三浦修(☎62・5251)へ

4月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 4月21日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成28年12月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 4月21日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成28年4月生まれ

■3歳児健診

- ・期 日 4月14日(金)
- ・受付時間 12:30~13:00
- ・対 象 平成25年8月、9月、10月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

■4月の広場日程

広場名称	曜日	時間
なかよし広場	月 火 木	9:00~11:30
赤ちゃん広場		13:00~15:30

■対象者

なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

赤ちゃん広場 18カ月までのお子さんとお家のかた

■その他 申込不要です。お気軽にご参加ください。(時間までに会場へお集まりください。) 平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター (おぐに保育園内 ☎62-2330)

求 人 情 報

右の表は3月21日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2017.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●4月26日(水) 水道料

●5月1日(月)

軽自動車税、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
長谷川工業(株)	マシニングオペレーター	2人	8:30~17:00 他
	NC 旋盤オペレーター	1人	8:30~17:00
クアーズテックマシナリ(株)	技能職(配管工)	1人	8:20~17:10
	技能職(電気工)	1人	
小国町介護老人保健施設 温身の郷	介護員【年度更新】	1人	8:30~17:00
荒川興業(株)	製造加工	2人	8:30~17:05
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30~17:30
大和建設運輸(株)	大型トラック運転手	1人	8:00~17:00
	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
山和建設(株)	ガソリンスタンド業務【急募】	1人	7:00~17:00 他
	一般土木施工管理技士・一級建築施工管理技士【本社】	3人	8:00~17:00
日本重化学工業(株) 小国事業所	電子材料の製造スタッフ	5人	8:15~17:15 他
U T エイム(株)新潟オフィス	(派) シリコン部材の加工業務(小国町)	2人	8:20~16:50 他
小国町観光協会	臨時雇用職員	1人	8:30~17:00
置賜森林管理署	一般事務	1人	10:00~16:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

総合センター図書室から

～新着図書～

◇慈雨	柚 木 裕 子
◇トヨトミの野望	梶 山 三 郎
◇明るい夜に出かけて	佐 藤 多 佳 子
◇夜行	森 見 登 美 彦
◇くらしの文集 各地区編	

小国町住宅リフォーム 総合支援事業について

■補助要件

- ①補強・省エネ・バリアフリー・県産木材・克雪のいずれか一つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと。
- ②町内に住所を有するかたで、自己が町内に所有する住宅等にかかる工事であること。
- ③工事の施工にあたり県内業者と請負契約を締結すること。
- ④工事に要する費用が10万円以上であること。
- ⑤平成30年2月末までに完了する工事であること。

■補助金額 リフォーム工事経費の10分の1の額、または20万円のいずれか低い額。町内業者と請負契約を締結する場合は、工事費用の10分の2の額、または40万円のいずれか低い額。内容によって補助の増額があります。

■申込み 「事前申込み」が必要になります。事前申込書に必要な書類を添えて、地域整備課へ提出してください。予定数を超えた場合は抽選となります。

■募集期間 4月14日(金)～21日(金)

■その他 この他、木造住宅の耐震診断・耐震改修、町内産木材等による新築・増築、ペレットストーブ等の設置に対して補助制度があります。詳しくはお問い合わせください。

■問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

相談

▽人権相談

- 日時 4月19日(水)
10:00～12:00
 ■場所 アスモ街なかギャラリー
 ■対応者 町人権擁護委員
 ■問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

- 日時 4月22日(土)
10:00～12:00
 ■場所 役場雇用相談室
 ■対応者 司法書士 舟山健蔵氏
 ■申込み 事前に申込みが必要です。
 ■申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

- 日時 4月22日(土)
10:00～12:00
 ■場所 役場
 ■対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
 ■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

合併処理浄化槽の設置補助

生活雑排水を浄化し、きれいな環境を守るために、合併処理浄化槽を設置するかたに補助を行います。

■対象 平成29年度内に、町公共下水道認可区域外の住宅で、合併処理浄化槽を設置されるかた

■補助金額 5人槽 40万円
6～7人槽 50万円

※単独処理浄化槽からの切り替えの場合は、一律8万円を加算します。

■その他 この補助とあわせて山形県浄化槽整備促進事業費補助金（汲み取り、単独浄化槽からの切り替え）の補助を受けられる場合があります。申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

■問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ

固定資産税課税台帳の閲覧・土地家屋価格等帳簿の縦覧

平成29年固定資産税課税台帳の閲覧と土地家屋価格等帳簿の縦覧を次の期間に行います。この機会に、所有する資産をご確認ください。なお、閲覧と縦覧は無料です。

- 期 間 4月3日(月)～5月31日(水)（土日祝日を除く）
 ■受付時間 8:30～17:15
 ■場 所 役場 町民税務課
 ■問 合 先 町民税務課税政管理室（☎62-2403）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室・移住定住促進室 ☎62-2264
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●商工観光室・白い森ブランド戦略室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408 ●会計室 ☎62-2406
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

平成29年度

乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。
当日は、母子健康手帳を持参してください。

■4カ月児健診 受付 13:10～13:20

■1歳児健診 受付 13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	4カ月児	1歳児
4月21日(金)	H28年12月生まれ	H28年4月生まれ
5月26日(金)	H29年1月生まれ	5月生まれ
6月23日(金)	2月生まれ	6月生まれ
7月21日(金)	3月生まれ	7月生まれ
8月25日(金)	4月生まれ	8月生まれ
9月29日(金)	5月生まれ	9月生まれ
10月27日(金)	6月生まれ	10月生まれ
11月24日(金)	7月生まれ	11月生まれ
12月15日(金)	8月生まれ	12月生まれ
1月26日(金)	9月生まれ	H29年1月生まれ
2月23日(金)	10月生まれ	2月生まれ
3月16日(金)	11月生まれ	3月生まれ

■1歳6カ月児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
6月9日(金)	H27年10月、11月、12月生まれ
9月8日(金)	H28年1月、2月、3月生まれ
12月8日(金)	H28年4月、5月、6月生まれ
3月9日(金)	H28年7月、8月、9月生まれ

■2歳児歯科健診 受付 13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
5月17日(水)	H26年9月、10月、11月生まれ
8月23日(水)	H26年12月、H27年1月、2月生まれ
11月15日(水)	H27年3月、4月、5月生まれ
2月21日(水)	H27年6月、7月、8月生まれ

■3歳児健診 受付 12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月14日(金)	H25年8月、9月、10月生まれ
7月7日(金)	H25年11月、12月、H26年1月生まれ
10月13日(金)	H26年2月、3月、4月生まれ
1月12日(金)	H26年5月、6月、7月生まれ

児童手当等制度のご案内

次の手当等には、それぞれ所得制限が設けられています。対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対 象 者	出生から中学校修了前の児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は児童を養育しているかた。父・母が重度の障がい者である家庭。	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた。(疾病による内部障がいも該当する場合があります)
手 当 額 (月額) 平成29年 4月現在	3歳未満 15,000円 3歳以上小学校修了前 第1子・2子 10,000円 第3子 15,000円 中学生 一律10,000円 特例給付一律 5,000円	対象児童1人につき 2,000円	42,290～9,980円 加算額 2人目9,990～5,000円 3人目以降5,990～3,000円 ※所得、認定経過年数に応じて手当額が変更になります。	1級 51,450円 2級 34,270円
支 給 期 間	出生から中学校修了まで(申請の翌月から支給)	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで ※在学期間中のみ	児童が満18歳に到達する年度末まで ※一定の障がいがある場合は20歳未満	児童が満20歳に到達する月まで
支 給 月	6・10・2月	9・3月	4・8・12月	4・8・11月
現況届など	毎年6月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合先 健康福祉課 (☎61-1000)へ

春の火災予防運動

「消しましょう その火その時 その場所で」

春の火災予防運動を、4月9日(日)から22日(土)までの14日間実施します。

運動期間中、午前7時と午後7時に防災ラジオと防災スピーカから火災予防に関する音声メッセージが流れます。

また、9日(日)に町消防団の消防自動車が火災予防パレードで町内を巡回します。

■問合先 町民税務課（☎62-2260）または消防署小国分署（☎62-2154）へ

協会けんぽの健康保険料率が変わります

協会けんぽ山形支部の健康保険料率を、平成29年3月分（4月納付分）から、10.00%から9.99%に改定されます。また、介護保険料については1.58%から1.65%に改定されます。

■問合先 全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023-629-7226）へ

高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種について

平成29年度中に次の各年齢となるかたは、肺炎球菌ワクチン予防接種の対象となります。ただし、すでに肺炎球菌ワクチンの接種を受けたことがあるかたは対象外です。

65歳：昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生まれ
 70歳：昭和22年4月2日～昭和23年4月1日生まれ
 75歳：昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生まれ
 80歳：昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生まれ
 85歳：昭和7年4月2日～昭和8年4月1日生まれ
 90歳：昭和2年4月2日～昭和3年4月1日生まれ
 95歳：大正11年4月2日～大正12年4月1日生まれ
 100歳：大正6年4月2日～大正7年4月1日生まれ

また、60歳以上65歳未満のかたで、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障がいがあるかたも対象となります。

■問合先 健康福祉課（☎61-1000）へ

愛犬に狂犬病予防注射を！

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けてください。

実施日	会 場	時 間
4月10日 (月)	叶水基幹集落センター前	9:30～9:45
	白子沢警鐘台前	10:05～10:10
	沼沢駅前	10:15～10:25
	伊佐領会館前	10:35～10:55
	種沢農村公園	11:05～11:35
	宮の森会館前	13:30～14:00
	多目的屋内運動場「あいべ」駐車場	14:10～15:00
4月11日 (火)	旧沖庭小学校前	9:30～9:55
	むつみ会館前	10:00～10:10
	長沢公民館前	10:25～10:35
	りふれ駐車場	10:45～11:00
	旧小玉川小中学校前	12:55～13:05
	玉川高齢者コミュニティセンター前	13:25～13:35
	旧足中分校前	13:50～14:00
	小国町役場東側駐車場	14:30～15:30

■持参するもの

鑑札、予防注射の通知はがき（はがきは登録しているかたにのみ送付）

■犬の登録について

犬を飼う場合は、町への登録が必要です。まだ登録していないかたは、予防注射の際に手続きをしてください。

■注意点

注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかたが連れてきてください。

■問合先

町民税務課町民生活担当へ

マナーを守りましょう

●放し飼いは禁止されています。つないで飼うようにしてください。●散歩の際は必ず引き綱をつけてください。●糞は必ず持ち帰りましょう。犬の散歩をするときには、糞の始末ができるもの（ちり紙・ビニール袋等）を必ず用意してください。





●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464

●行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112

●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260

●商工観光室・白い森ブランド戦略室 ☎62-2416

●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432

●企画財政室・移住定住促進室 ☎62-2264

●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403

●農林振興室 ☎62-2408 ●会計室 ☎62-2406

●議会事務局 ☎62-2448

第28回

おぐに石楠花まつり

■期 間

5月3日(水)～7日(日)

■時 間

午前9時～午後5時

■場 所

道の駅「白い森おぐに」
特設会場

■入場料

無料

■問合せ先

産業振興課商工観光室
(☎62-2416) へ

マタギの里

小玉川 熊まつり

■期 日

5月4日(木)

■時 間

午前10時～

■場 所

国民宿舎飯豊梅花皮荘脇駐車場

■内 容

神事・狩りの模擬実演
物産販売など

■問合せ先

小国町観光協会
(☎62-2416) へ

4月の あいベイベント

小学生春休みスポーツ教室



■日 時

4月4日(火) 9:30～11:30

■対 象

新小学1～6年生

■持ち物

室内シューズ、飲み物、
タオルなど

■参加費

1人50円(保険代込み)

■申込締切

4月3日(月)

■申込・問合せ先

おぐにYui
スポーツクラブ
(☎62-5808)

ファミリー・サポート・センター 利用のお知らせ

ファミリー・サポート・センターでは、子育てのお手伝いをしてほしい人(利用会員)と子育てのお手伝いをしたい人(協力会員)が会員として登録し、子育ての相互援助活動を行っています。

■会員資格

○利用会員 小国町在住のかたで、小学校6年生以下の子どもの保護者

○協力会員 小国町に住んでいるかたならどなたでも

※両方会員 利用会員と協力会員を兼ねることも可能です。

■援助の内容

- ・ 保育施設等の開始時間前や終了後の預かり
- ・ 保育施設、習い事等の送迎
- ・ 保護者の短時間、臨時的就労のときの預かり
- ・ 冠婚葬祭や学校行事のときの預かり
- ・ 保護者がリフレッシュしたいとき など

■利用料金

【平日】 午前7時から午後7時まで1時間あたり600円、それ以外の時間は1時間あたり700円

【土日祝日】 1時間あたり800円

■申込方法

健康福祉課で会員登録手続きを行ってください。

■申込・問合せ先

健康福祉課 (☎61-1000) へ

J R米坂線踏切の冬季通行止め解除

冬季間通行止めとなっていたJ R米坂線の町内の踏切は、4月8日(土)に通行止め解除となります。なお、増岡踏切、西岩井沢踏切および朝篠踏切については、3月下旬に通行止めを解除しています。

■問合せ先 地域整備課建設管理室へ

入札結果情報 (平成29年2月21日～平成29年3月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H29.2.21	平成28年度社会資本整備総合交付金事業 町道小坂町朝篠線種杉橋橋梁補修工事	杉沢	H29.3.24	3,634,000	安部工業(株)	3,600,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

～訂正とおわび～ 先月号の「入札結果情報」欄の表記に誤りがありました。工事名「平成28年度歯科訪問セット購入」の落札業者は「岡崎医療株式会社」でした。訂正しておわびいたします。

町職員の人事異動

【内は前職】

■退職（3月31日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師今孝志▼地域整備課建設技術主幹菅野亨一▼町立病院看護部長（兼）地域医療連携室長井上秀子▼町立病院医療安全管理室長（兼）地域健康看護主査（兼）地域医療連携外来看護主査木村陽子▼会計室長日下恵理子▼地域整備課主任技師青木淳

■新採（4月1日付）

▼町立病院医師（兼）介護老人保健施設医師榎本愛実▼総務企画課主事補安部斗夢▼町民税務課主事補金歩夢▼健康福祉課主事補大谷虎之介▼地域整備課主事補浅見康名▼地域整備課技師補竹田陵▼町立病院理学療法士齋藤成也

■再任用（4月1日付）

▼地域整備課技術指導員菅野亨一

■昇任・昇格（4月1日付）

▼町立病院看護部長（兼）地域医療連携室長【町立病院看護副部長（兼）地域医療連携看護主査】佐藤三保▼会計室長【議事事務局議事主査（併）監査委員事務局監査主査】大谷愛子▼健康福祉課健康長寿推進室長（兼）地域包括支援センター次長【総務企画課法務行政担当主査】伊藤哲史▼産業振興課商工観光室長（兼）

商工労政担当主査【産業振興課商工労政担当主査】瀬齊知倫▼町立病院医療安全管理室長（兼）地域健康看護主査（兼）地域医療連携室主査（兼）外来看護主査【町立病院外来看護主査】塚原美春▼町立病院医療技術部次長（兼）薬剤主査（兼）療食主査（兼）医療情報システム管理者【町立病院医療技術主査（兼）薬剤係長（兼）療食係長（兼）医療情報システム管理者】長坂幸広▼教育振興課教育振興・子ども育成室長（兼）中央児童室長【教育振興課スポーツ振興担当主査（兼）生涯学習担当主査】後藤園恵▼総務企画課付係長【総務企画課主任】片桐研二▼総務企画課自動車運転長【総務企画課主任自動車運転手】清野賢一▼町民税務課課税担当係長【町民税務課主任】河内亮▼町民税務課町民生活担当係長【産業振興課主任】井上賢和▼地域整備課建設技術担当係長【地域整備課主任技師】三瀧薫▼町立病院臨床検査係長（兼）地域健康主任臨床検査技師【町立病院地域健康主任臨床検査技師（兼）主任臨床検査技師】渡部寿賀子▼町立病院リハビリテーション係長（兼）介護老人保健施設作業療法士【町立病院主任作業療法士】鈴木光▼介護老人保健施設介護係長（兼）相談指導員【介護老人保健施設主任介護員（兼）相談指導員】高橋純▼教育振興課生涯学習担当係長【町立病院主任（兼）訪問看護ステーション主任】舟山亜樹▼総務企画課主任【産業振興課主事】木村明宏▼総務企画課主

任自動車運転手【総務企画課自動車運転手】米野幸宏▼町民税務課主任【町民税務課主事】伊藤拓也▼健康福祉課主任【総務企画課主事】安部淳▼産業振興課主任【産業振興課主事】佐藤正樹▼産業振興課主任【産業振興課主事】今博貴▼地域整備課主任【地域整備課主事】渡部智也▼町立病院主任【町立病院主事】今直樹▼町立病院看護部長【町立病院看護師】三須千春▼介護老人保健施設主任【介護老人保健施設主事】片桐康代▼おぐに保育園主任保育士【おぐに保育園保育士】伊藤久美子▼おぐに保育園主任調理師【おぐに保育園調理師】渡部とも子▼地域整備課主事【町民税務課主事補】白川朋絵

■配置替え（4月1日付）

▼町立病院院長（兼）包括ケア推進監（兼）介護老人保健施設施設長（兼）医療技術部長【町立病院院長（兼）介護老人保健施設施設長（兼）医療技術部長】阿部吉弘▼総務企画課長【包括ケア推進監（兼）町立病院事務局長（兼）医療技術部長事務代理（兼）医療情報システム管理室長】阿部英明▼総務企画課まちづくり戦略担当課長（兼）企画財政主幹（兼）移住定住促進室長【総務企画課企画財政主幹（兼）企画財政室長】佐藤友春▼町民税務課長【議事事務局長（併）監査委員事務局長】舟山博▼産業振興課観光経済担当課長（兼）商工観光主幹【地域整備課長】井上伊勢男▼地域整備課長【教育振興課長（兼）おぐに開発総合センター所長】加藤康浩▼町立病院事務局長（兼）包括ケア推進次長（兼）医療技術部長事務代理（兼）医療情報システム管理室長【介護老人保健施設事務局長（兼）包括ケア推進次長（兼）庶務主査】木村広英▼訪問看護ステーション所長（兼）包括ケア推進次長（兼）庶務主査【訪問看護ステーション所長（兼）包括ケア推進次長】伊藤優子▼介護老人保健施設事務局長（兼）包括ケア推進次長（兼）庶務主査【健康福祉課健康長寿主幹（兼）包括ケア推進次長（兼）健康推進室長（兼）地域包括支援センター次長（兼）高齢社会対策室長】渡辺仁▼教育振興課長（兼）おぐに開発総合センター所長【町民税務課長】仁科清春▼議事事務局長（併）監査委員事務局長【総務企画課長】後藤和人▼総務企画課行政管理局長（兼）情報・危機管理室長【産業振興課商工観光室長】舟山重浩▼総務企画課企画財政室長（兼）協働のまちづくり担当主査【総務企画課行政管理局長】二馬健▼産業振興課農林振興室長（兼）農林技術専門員【産業振興課農林技術専門員（兼）森林振興担当主査】渡邊久光▼産業振興課白い森ブランド戦略室長（兼）白い森ブランド戦略担当主査【産業振興課農林振興室長（兼）農政農村担当主査】磯部俊二▼地域整備課建設技術室長【地域整備課建設技術室長（兼）建設技術担当主査】伊藤鉄哉▼町立病院事務次長（兼）総務主査（兼）医事主査（兼）地域健康主査（兼）地域医療連携主査【町立病院事務次



●小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
 ●行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112 ●企画財政室・移住定住促進室 ☎62-2264
 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403
 ●商工観光室・白い森ブランド戦略室 ☎62-2416 ●農林振興室 ☎62-2408 ●会計室 ☎62-2406
 ●建設管理室 ☎62-2431 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

長(兼) 訪問看護ステーション次長
 (兼) 総務主査(兼) 医事主査(兼)
 地域健康主査(兼) 地域医療連携主査
 益田則幸▼議会議務局長補佐(兼)
 議事主査(併) 監査委員事務局局長
 補佐(兼) 監査主査【教育振興課教
 育文化室長(兼) 学校教育担当主査】
 小野正晴▼総務企画課情報・危機管
 理担当主査【町民税務課町民生活担
 当主査】横山真也▼地域整備課建設
 管理担当主査【健康福祉課高齢社会
 対策担当主査】佐藤秀樹▼地域整備
 課水道業務担当主査【町民税務課住
 民窓口担当主査】渡部由美子▼町立
 病院医療安全管理室主査(兼) 地域
 医療連携外来看護師長(兼) 外来看
 護師長【町立病院医療安全管理室主
 査(兼) 地域医療連携室主査】長坂
 幸子▼教育振興課学校教育・子ども
 育成担当主査【町民税務課収納担当
 主査】木村英和▼総務企画課行政管
 理担当係長【総務企画課法務行政担
 当係長】羽田淳哲▼総務企画課移住
 定住促進担当係長【地域整備課建設
 管理担当係長】高橋俊典▼町民税務
 課収納担当係長【町民税務課課税担
 当係長】舟山友樹▼町民税務課住民
 窓口担当係長【地域整備課水道業務
 担当係長】蛸谷マキ子▼健康福祉課
 福祉担当係長【健康福祉課児童福祉
 担当係長】佐藤ひとみ▼産業振興課
 農政農村担当係長【総務企画課庶務
 管財担当係長】金子弘範▼産業振興
 課森林振興担当係長【健康福祉課地
 域福祉担当係長】山口真一▼教育振
 興課スポーツ振興担当係長【総務企

画課地域振興担当係長】小池みどり
 ▼総務企画課主任【教育振興課主任】
 今美穂▼町民税務課主任【総務企画
 課付主任】渡邊恵美▼産業振興課主
 任【地域整備課主任】横山真由美▼
 産業振興課主任【総務企画課主任】
 遠藤愛▼地域整備課主任【総務企画
 課付主任】鎌田泰子▼町立病院主任
 【町民税務課主任】舟山さゆり▼訪問
 看護ステーション主任【議事事務局
 主任書記(併) 監査委員事務局主任
 書記】松林清範▼教育振興課主任【健
 康福祉課主任(兼) おぐに保育園事
 務主任】青木真由美▼おぐに保育園
 主任保育士(兼) 中央児童室主任放
 課後児童支援員【おぐに保育園主任
 保育士(兼) 中央児童室主任放課後
 児童支援員(兼) 叶水保育園主任保
 育士】梅津里美▼総務企画課付主事
 【会計室主事】木村綾▼総務企画課主
 事【教育振興課主事】井上博人▼総
 務企画課主事【教育振興課主事】舟
 山大地▼総務企画課主事【町民税務
 課主事】塚原駿一郎▼総務企画課主
 事【健康福祉課主事】舟山健太▼町
 民税務課主事【教育振興課主事】佐
 藤甫▼町民税務課主事【健康福祉課
 主事】高橋良季▼健康福祉課主事【産
 業振興課主事】梅津稀人▼産業振興
 課主事【教育振興課主事】齋藤香穂
 ▼訪問看護ステーション理学療法士
 (兼) 町立病院理学療法士【町立病院
 理学療法士】舟山朋浩▼町立病院看
 護師【介護老人保健施設看護師】阿
 部靖子▼町立病院看護師【訪問看護
 ステーション看護師(兼) 町立病院

看護師】舟山香▼訪問看護ステーション看護師(兼) 町立病院看護師【町立病院看護師】小田綾▼介護老人保健施設看護師【町立病院看護師】佐竹幸▼教育振興課主事【地域整備課主事】渡邊健▼教育振興課主事【総務企画課主事】

務企画課主事】蛸原紘子▼おぐに保育園調理師【町立病院調理師】鈴木良子▼議事事務局書記(併) 監査委員事務局書記【産業振興課主事】高橋佳帆里▼教育振興課主事補【地域整備課主事補】齋藤竜哉

役場組織機構改正について

■重点事業の推進

平成29年度において、移住・定住を促進し、協働のまちづくりを展開するとともに、白い森まるごとブランド構想を戦略的に推進し、「みんなが輝いているまち」を着実に進めるため、**総務企画課内に「移住定住促進室」を、産業振興課内に「白い森ブランド戦略室」を設置**しました。

■所管業務の見直し

保・小・中連携を推進する執行環境を整えるため、おぐに保育園及び中央児童室に係る業務を教育委員会に移管し、**教育振興課内に「教育振興・子ども育成室」を設置**しました。

危機管理体制の総括機能を確保するため、**総務企画課内に「情報・危機管理室」を設置**しました。なお、4月から運用を開始する防災行政通信システムについては、「情報・危機管理室」の所管とし、本格運用へと移行していきます。

平成28年度に取り組んだ高齢者日常実態調査の終了により、**健康福祉課内の「高齢社会対策室」を廃止**しました。なお、その成果は具体的な施策展開に活用していきます。



戸籍のまど

(2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

北	佐	藤	柚	都	(博由和衣)		
河	原	角	伊	藤	光	冴	(洋愛平子)
小	玉	川	藤	田	稀	睦	(鉄梨也絵)
岩	井	沢	佐	藤	翔	竜	(政由樹美)
叶	水	三	島	雪	(亮かり)		
伊	佐	領	高	橋	小	春	(聖一和美)

結婚おめでとうございます。

(新	湊	県	小	野	享	志
古	田	安	部	美	奈	子
(叶	水	伊	藤	正	俊	
増	岡	小	関	優		

おくやみ申し上げます。

小国小坂町	佐	藤	則	子	(74)		
沼	伊	藤	ま	さ	(82)		
小国小坂町	船	山	哲	太	(68)		
小国小坂町	伊	藤	晴	男	(80)		
古	田	木	村	真	(85)		
大	石	沢	高	橋	ひ	さ	(93)
兵	庫	館	小	嶋	宏	幸	(59)
小	国	町	保	科	諒	尚	(22)
東	原	渡	部	貞	二	(86)	
北	和	舟	山	ナ	カ	子	(85)
小国小坂町	和	田	啓	文	子	(66)	
若	山	金	文	子	(85)		
北	安	田	む	つ	子	(84)	
伊	佐	領	山	口	春	男	(75)
町	原	松	田	部	よ	(85)	
古	田	安	部	信	江	(98)	
幸	井	沢	東	十	三	年	(101)
岩	井	沢	東	十	三	年	(78)

※この欄に掲載を希望しないかは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年2月28日現在)

人口	男	・	・	・	・	3,930 人	(- 4)
	女	・	・	・	・	4,038 人	(- 13)
	計	・	・	・	・	7,968 人	(- 17)
世帯数						3,100 世帯	(- 3)

編集後記

1年間広報を担当させていただき、カメラ片手にたくさんの方々とのお会いがありました。いろいろな話をお聞きし、まだ知らない世界がたくさんあることを痛感した1年でもありました。

今後とも皆様に親しんでいただける「広報おぐに」であるよう、わかりやすい紙面づくりを心掛けていきたいと思っています。今年度もたくさんの情報をお待ちしています。(斎藤)

シリーズ⑫

僕たち、私たちのスポーツ少年団

『Yuiキッズクラブスポーツ少年団』



Yuiキッズクラブスポーツ少年団は小学校3～5年生7人で活動をしており、誰でも気軽に楽しむことのできるニュースポーツや簡単なジョギング、各スポーツ少年団への参加などさまざまなスポーツに取り組んでいます。

代表指導者のおぐにスポーツクラブYuiクラブマネージャーの藤田明美さん(長者原)は、「運動が得意な子も苦手な子も、多種目のスポーツを経験して、運動が楽しいと思ってもらえるように活動しています。また、全員でよさこいソーラン節を練習し、イベントなどで発表する機会を設けています」と話してくださいました。

繁村知(ちひろ)くん(幸町)は、「Yuiキッズクラブスポーツ少年団では、たくさんのスポーツができ、みんな仲良く楽しく活動をしています。僕は、Yuiスポ少の活動を通して、卓球が好きになりました。Yuiスポ少では、苦手なスポーツでも先生が優しく教えてくれるので、みんなで楽しみながら覚えることができます」と活動の様子を話してくれました。

さまざまなスポーツを経験して
運動の楽しさを一緒に感じましょう

募集団員	小学校1年生～中学生
活動内容	多種目のスポーツを行います
活動日時	毎週土曜日 10:00～12:00
活動場所	町民総合体育館ほか
問 合 先	特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブYui事務局 (62-5808) へ